

ミッション・ブリーフィング

台湾と沖縄をつなぐ、未来のリゾートをデザインしよう



嘉新グループ × Hotel Collective Resort ハッカソン

今日の流れ

01

私たちについて（出題者）

02

今回のミッション

03

二つの問い

04

提案のヒント

05

提出するもの

01

私たちについて（出題者）

嘉新グループ

過去

セメントと重工業で、台湾の土台を築いてきた。
。

現在

ホテル・ヘルスケア・「体験」の事業へ大きく舵を切っている。

このリゾートは、私たちの変革のいちばん最前線にあります。

02

今回のミッション

これは、

「きれいなホテルを設計する」ことではありません。

つまり、客室や建築デザインを競うコンペではない、ということです。

では、何を考えるのか？ —— 次のページへ。

「施設」から「プラットフォーム」へ

施設

泊まる人にサービスを提供する場所。

- ・ 使うのは「泊まる人」だけ
- ・ 価値は建物の中で完結する

プラットフォーム

人と人、地域と地域が「つながる」場。

- ・ 泊まらない人にも価値がある
- ・ 駅前広場やSNSのように、出会いが生まれる

私たちのリゾートでは、具体的にどんな姿？ → 次ページの「四つの価値」。

「プラットフォーム」の四つの価値

1 住民の日常の場

ふだんからコーヒーや食事、泳ぎに行きたくなる場所。

2 地元産業の舞台

沖縄の農産物・工芸・小さな店を、より多くの人へ。

3 文化・体験の発信地

マーケットやワークショップ、公演で地元文化を見せる。

4 未来を映し出す窓

持続可能で、地域と共に生きる暮らし方を示す。

一言でいうと

泊まる人だけでなく、
地元の人や地域みんなにとって
価値のあるリゾートを、
どうつくる？

03

二つの問い ① 誰のためにデザインする？

人によって、求めるものは大きく違います：

海外からの旅行者

忘れられない体験・異国情緒

国内の旅行者

便利さ・手ごろさ

地域の住民

日常にとけこめる場所

家族連れ

安全・くつろぎ・遊び

若い世代

写真映え・シェアしたくなる

長期滞在の人

我が家のような心地よさ

全員を同じには満たせない。→ まず「誰を優先するか」を決め、理由も。

03

二つの問い② 何なら自由に変えられる？

変えられないもの

- ・ 場所 ・ 建物の大きさ
- ・ 法律やルール ・ スケジュール
- ・ 運営条件 ・ ブランド方針

自由に変えられるもの

- ・ どんな体験をつくるか
- ・ イベントや催し ・ 会員のしくみ
- ・ 地元との組み方 ・ 空間の使い方

カギは「中身（ソフト）」。「難題：閑散期に価値をどう保つ？」住民に「自分たちの場所」と思ってもらうには？

04

提案のヒント —— 台湾 × 沖縄、皆さんの「武器」



私たちは台湾の会社。だから「台湾と沖縄をつなぐ」アイデアは、
皆さんだけが私たちのために発揮できる強みです。

例：両地をむすぶ会員制度 / 台湾の食材を使う / 台湾からの旅行者に特別な体験を

04

提案づくりの三つのコツ

1

絞る

四つ全部に浅くふれるより、一～二点を深く。

2

物語で

数字より、「どんな体験ができるか」を語る。

3

地元とつなぐ

住民が「自分たちの場所」と思えるか。

05 提出するもの

- ① 誰を優先するか（ペルソナ）
- ② 何を変えるか（アイデア）
- ③ 台湾と沖縄をどうつなぐか

さあ、一緒に「未来のリゾート」を思い描こう。

皆さんの、大胆で地に足の着いたアイデアを楽しみにしています。